

# 京都市動物園ふれあい広場「おとぎの国」

Date | H21

Location | 京都市左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内

Client | 京都市

Types | 基本設計・実施計画

ふれあい広場「おとぎの国」は、平成21年11月に策定された、共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づく、最初のエリアになります。平成21年度には、京都市動物園全園基本設計とふれあい広場「おとぎの国」の実施設計を行いました。

## ◎「近くて楽しい」がキーワード

共汗でつくる新「京都市動物園構想」では、「近くて楽しい」動物園の実現が第一の目的として掲げられています。ふれあい広場「おとぎの国」では、動物と入園者、入園者と動物園スタッフが、「近くて楽しい」ひと時を過ごせるよう、施設レイアウトを行いました。

## ◎自然エネルギーの活用

カメの池では、風車を使った水循環、ペンギンのプールでは、太陽光パネルを用いて噴水を設置する等、自然エネルギーを展示に活用。感覚的に自然エネルギーが理解できるような仕掛けを配置しました。

## ◎動物の能力に驚き

ヤギの橋渡り、テンジクネズミの移動チューブ、高木に登るレッサーパンダ等、動物の凄さが感覚的に伝えられる仕掛けを配置しています。

## ◎模型を用いた施設の検討

動物舎の屋上をデッキにして、上からも見られるようにする等、施設は立体的でした。例えば、ヤギ山は紙粘土を用いた簡易模型、施設レイアウトでは、スタディ模型を用いて、感覚的に施設全容が把握できる手法を用いて協議を行いました。

